

言語を学ぶということ

東北大学法学部 風張健



いきなりですが、「クウェート」で「アラビア語」を勉強するとはどういうことでしょうか？僕はここクウェートに来るまで、それがどういったことか全く想像が付きませんでした。クウェートのこともアラビア語のこともほとんど何も知りませんでした。僕の胸の中にあっただのは、ただ未知の国で未知の言語を学べることに對するワクワクした気持ちでした。今、語学センターの全課程を終えて思うのは、たくさんの人々と出会い、多くを学んだこの10か月間はまさに夢のように恵まれた日々だったということです。

この留学での一番の収穫は何であったかと問われると、さまざまな人との出会いが挙げられると思います。僕は青森県に生まれ、仙台市で学生生活を送っていましたが、そこでは外国人と接するということがほとんどありませんでした。それがこっちへ来たら、当然ですが周りはみんな外国人。学校には、アフリカ、ヨーロッパ、東南アジアなどから来た学生。外に出たら、インド人、エジプト人、フィリピン人といった労働者。また、こちらで働いている日本人とその子供たちとの出会いもありました。これらの人々とのひとつひとつの出会い・会話が僕にとっては新鮮でした。自分のこれまで抱いてきた考え方・常識がいい意味で壊され、人生を新しい目で見るとして契機を与えてくれたように思います。

そして、人との出会いがあったということは、そこには「言語」があるわけです。寮のアフリカ人や東南アジア人とはアラビア語、その他の外国人やクウェート人とは英語で話しました。僕はこの留学を通して、外国語で外国人と話す喜びに目覚めました。こんなことを言うのはかなり田舎者のようですが、「外国人」というのは、ここに来る以前の僕にとっては遠い世界にいるようなかけ離れた存在でした。でも、「言語」が使えればその人たちと会話することができ、こちらの努力次第で楽しい時間を共有することができるわけです。これは僕にとって衝撃的な気づきでした。

أنا بخير الحمد لله. و أنت؟ كيف حالك؟

友人とこんな簡単な会話をかわすだけでも本当に楽しいのです。また、今日の朝、クウェート人の友人から次のようなメッセージをいただきました。とてもお世話になったクウェート人に僕が送った「何もしてあげられなくてごめん」といった旨のメールに対してのもので

"Oh, iie, please don't say that. you" "gave me the chance to meet up and talk with you
^u^"

すてきだと思いませんか？心の中にある思い、頭の中にある考え。言語はこれらを形にして相手に届けてくれるのです。今後一生をかけて「言葉」を蓄積し、磨き、発信していこうと思いました。

If you talk to a man in a language he understands it, that goes to his head. If you talk to him in his language, that goes to his heart.
—Nelson Mandela

最後になりますが、この留学期間中にお世話になった皆様方に厚く感謝申し上げます。ありがとう。 Thank you. شكرا جزيلاً.



クウェート沖にて他の留学生たちと